

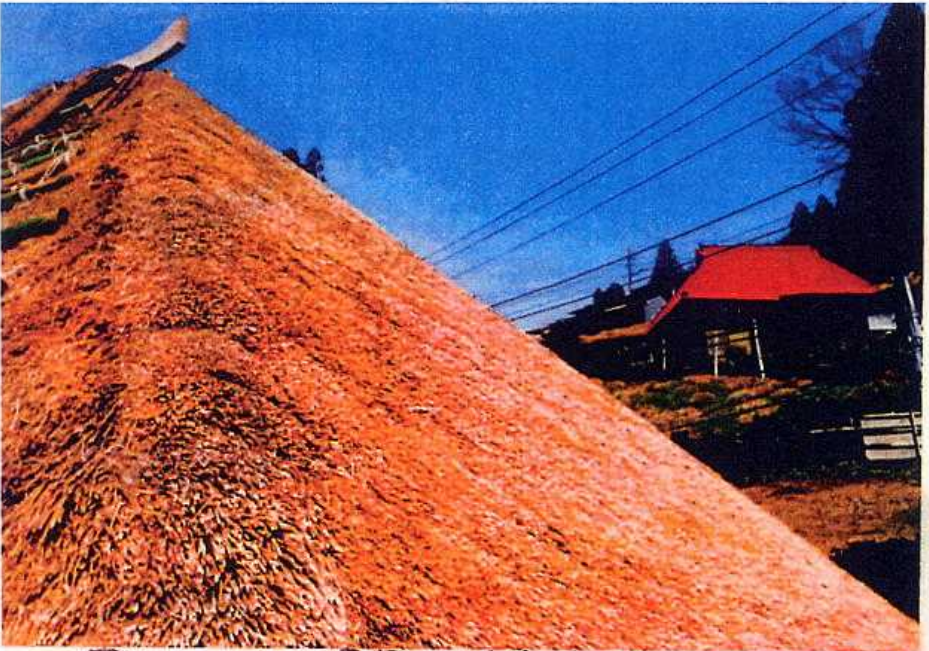
# てん新聞

09.4.No143  
発行 市岡日出夫  
発着 0883-88-5292

重伝肆に指定されている落合地区に、茅葺きの民家が再生されました。先号でもお知らせしてまいりましたが、二月十六日から葺きかえの工事を開始し、三月二十四日に美しい茅葺きの家が落合地区に再現されました。屋根葺き職人さんの指道のもと、東祖谷の会社が甲心に、祖谷の人々の手によつてよみ

## 落合長岡家

## 古茅再生



## 祖谷の風景

かえつた茅葺き民家、あと、数ヶ月にわたつて、内部の再生を完成し、今後落合地区は言うまでもなく、東祖谷地区のソニボルとして、国指定の小采家、木村家そして武家屋敷と共に活用されることとしよう。現状、茅葺きの家に住んでいる家は数軒しか残っていないので、茅葺きの技術をはじめとした生活の知恵が、まさに跡絶えようとしている時に、大まな意味があります。時に、長岡家の葺きかえには、二十代の若者が三人も参加し、大まな力とほり、彼らが今後、なんらかの形で茅葺きの事業に参加出来るならば、落合地区が次々と茅葺き民家の再生が、大まな前進することとわります。それには、落合地区の皆さんの考え、祖谷への愛着度が問われ、こゝとは間違いなさそうです。



## 徳島

## NPOフォーラム

第8回徳島NPOフォーラムが三月十四日、十五日の二日間開催。徳島県西部での開催は、はじめて。二十日は、大田昌也さん(市民と暮らす、研究所長)の基調講演。口と知恵を出し、身銭をきって汗を流すことが大切との話が印象に残りました。二日目は、三好市内4ヶ所分科会を、実施。十三分科会は、東祖谷。当日は、久し振りの好天、ちいホリの恩恵より眺め、協議会長長南さんに説明をうけた左の(写真)、大技武家屋敷へ、倉倉は、地元の皆さんの手作り、祖谷のばやフキントウのテニアラなど。午後、田舎を歩くと、物、地、人のつながりが感じられ、(右上の写真)。二日間の話し合い、交流会が、この日だけの事であり、自らが行動しない限り、あつたならば、無敵使いです。

## 祖谷で開催

